

佐々木重人学長 式辞



今日の専大を超えるため

組んでいます。生田キャンパスでは2号館と3号館が完成しました。生田キャンパスが「自分を鍛える場所」「将来の目標や決意を実現するための場所」、そして「友情を育む場所」となることを願っております。新2号館と新3号館は、IT環境を強化し、層新校舎が靖国通り沿い

して、また地域貢献にも積極的に活用することが期待されています。2号館と3号館の間を知らせていただくことには、「生田の風」を感じ、皆さんが今日の場で決意した目標の実現に向かう気持ちを鼓舞した活動の合間に心身をリフレッシュしてください。頑張ろうではありませんか。

在学中、大学が用意する教育カリキュラムや学生支援プログラム、施設・設備をことごとく活用いただくことを期待しています。これからの4年間は人生を左右する大事な期間です。悔いのないよう、己の目指す目標を達成し、友人とともに充実した日々を過ごされることを切に希望しています。(要旨)

日高義博理事長 祝辞



可能性と直観信じ学んで

どうやって自分の人生を決定するかっていいです。その精神を皆さんも切り開こうか考えましょう。人生の可能性が全これからの4年間で少し。そうした余裕を持つことは今は難しいかもしれませんが、それが飛躍する時期です。自分の可能性を伸ばす、それが飛躍するバネになります。どうぞ自分の殻を破り、大きく発展してください。

専修大学は明治13年に創立され、わが国の若者に日本語で近代の学問を学ぶスタートとなりました。138年になろうと

め得太く専修大学に入開かせるため、日々精進学された皆さん、おめでしてほしいと思います。どうぞごさいいます。ご父母、最近情報過多の社会、保護者の方々にも心か、情報に追われがちで、私がお慶び申し上げます。私が専修大学法学部に入学したのは昭和41年に秘めたものがあると思、宮崎県から27時間、それを大きく花間汽車に揺られながら、

が、大学では高校までの成績や偏差値はほとんど役に立ちません。いかに覚えたかではなく、いかに課題を発見し解決するかにかかっています。機関をつくらうとした精神は、今日まで卒業生によって引き継がれていま

皆さんがやりたいと心を定めた時には応援します。実現に向けたチャンネルが数多く用意されています。鳥まで感動する入学式です。頑張ってください。

2017年度入学式

新入生の皆さん、専修立140周年を迎え、大学へようこそ。また、その年を次世代への貢献をめざす節目と定めて、現在全学を挙げて学部の発信や思索の場を充実させるため、大学院スペースなども拡充しました。新しい教育・研究施設と備えといった大改革に取り

新入生を巻き込んだ形で改革が進み、驚きや戸惑いを与えてしまう可能性もありますが、皆さん



オリエンテーションガイダンス



ご父母・保護者のための専修大学ガイダンス

入学式で祝辞を述べる出雲高志育友会長



学部の特徴を説明する廣瀬玲子文学部長

